大館の歴史散歩

峠・坂里の道②

細越道

大館市には、沼館、十二所、白沢・粕田に、「細越」という小字名が残っている。いずれも低い丘陵を越える細道が通っているところで、かつては日常の通道、草刈り道、行商道、そして婚姻の道として、村と村、地域と地域を結ぶ重要な里道であった。

地図と写真は白沢・粕田の「細越」地区で、地図にみられるように道の通っている沢は細越沢と呼ばれている。この細越道は、松原と白沢・粕田を結ぶ里道であり、時代を平安・鎌倉時代にさかのぼれば、「矢立廃寺」と「大館野遺跡」を結ぶ道であった。

現在はまったく人の通わぬ道となっているが、昭和三〇年代に作製された国土地理院発行の五万分の一の地図「碇ケ関」には、中羽立から男神山と女神山の間の鞍部を越えて松原へ連絡する道が示されている。鞍部越えの女神山寄りにはイザナギ・イザナミの二神を祀る「岐美二柱」の祠があって、男神山・女神山の山名は、岐美二神に由来するものである。

この道は草木が繁茂し、道としてはまったく利用されていない。しかも、女神山を切り崩して採石が行われ、細越が地域の重要な道であった当時の面影を残すことなくまったく破壊されてしまっている。

「矢立廃寺」そして「九僧堂」「大館野遺跡」は男神山・女神山を中心とする自然景観があっての古代大館人の生活・信仰遺跡であり、それを結ぶ細越道は彼らの生活の道、信仰の道であった。

大館地方の古代・中世の姿をそのままとどめる数少ない地域であるだけに、自然景観そして歴史環境の破壊はきわめて残念なことである。

市役所史跡探訪会

▲「矢立廃寺」跡からみた男神山（右）と女神山（左）、両山の間の鞍部が細越

私の本棚

中央図書館新着図書

「日出る国の工場」

村上春樹著

（平凡社）

7つの個性的な工場の探訪記。工場の風景がありのまま紹介されるが、モノやサービスを作り出す一心不乱な人々の姿は何となくユーモラスで、巧まざる文明批判となっている。

一般書

◇はなの本（渡辺弘）◇カザルスへの旅（伊勢英子）◇テロの時代（坂井定雄）◇越境スポーツ大コラム（山口昌男）◇雲の宴（辻邦夫）◇雪舞い（芝木好子）◇ふり向けばタンゴ（五木寛之）◇ジェシーとサリー（ホワイティング）◇ヨーロッパ宮殿物館（井上宗和）◇本所しぐれ町物館（藤沢周平）ほか。

児童書

◇恐竜たんけん図鑑（松岡達英）◇ガラスのはなし（由水常雄）◇生物（ランバート）◇自然と友だちになる法全6巻（学研）◇鏡からとびだした歯医者さん（ロダーリ）ほか。

◆5月のテーマ関連図書コーナーは「教育問題」です。

◆親子読み聞かせ会は
毎週金曜日　午後2時30分

◆中央図書館の休館日は
5月17、28日、6月21、25日

市民の声

〈お尋ねします〉

私は、四月から病気で入院しています。あと一週間くらいで退院できるのですが、給料日前のため病院へ入院費が払えません。このようなとき、市でお金を貸してくれる制度があると友人から聞いたのですが……。

（市内・匿名希望）

〈福祉事務所からお答えします〉

市では、不時の出費などでお金の必要が生じた市民に対して、そのお金を無利子で貸し付けし、その家族の生活の安定を図ることを目的として「福祉資金貸付制度」を設けています。

◆福祉資金貸付制度

▽貸付限度額……十二万円

▽償還……貸し付けを受けた翌月から十二カ月以内に均等月賦償還していただきます。（繰り上げ償還もできます）

▽連帯保証人……市内に居住し、独立の生計を営む方一人を連帯保証人として立てていただきます。

▽申し込み及び問い合わせ
池内字大出　社会福祉協議会
☎49～3942

〈保険年金課からお答えします〉

あなたが国民健康保険の加入者であれば、一カ月五万四千円以上の医療費（保険診療分）の支払いをされたときに、五万四千円を超えた額を申請により高額医療費制度から全額払い戻しをします。ただし、払い戻しするのは、診療を受けた月から早くて二カ月後になります。そこで市では、市税の滞納のない世帯に対し、高額療養費の範囲内で一時立て替えをする独自の貸付制度（無利子）を設けていますのでご利用ください。

▽高額療養費についてのお問い合わせは、保険年金課国保係へ（内線243）

※国保以外の健康保険でも、貸付制度を設けている場合もありますので、加入されている健康保険の事務担当へお問い合わせください。